

出前講座における思春期保健（性の健康教育）の取り組み

目 的	目 標	出前講座の内容
思春期の若者が正しい性知識を持ち、命や体を大切にする性行動の選択・決定ができるようになる。	1. 保護者が子どもの年齢に合わせて性を話題にできる。	対象者：保護者（小学校・中学校） ○テーマ「親が伝えたいこと」 内容：子どもたちの現状を知る（情報源、性行為の時期、県・市の実情） 年齢にあわせた性の健康教育のポイント（幼児期、小学校、中学校）
	2. 生徒・学生が性を科学としてきちんと学ぶことができる。	対象者：生徒・学生（中学校・高校） ○テーマ「思春期のからだところの変化」 内容：生命誕生にからめて二次性徴について知り、考える。 一人ひとりのところと身体の違いを知り、考える。 自分を大切に。そして相手を大切にするとはどういうことかを考える。 ○テーマ「エイズ予防～正しく知って行動しよう」 内容：エイズを含めた性感染症の実態と予防について知り、考える。 自分を大切に。そして相手を大切にするとはどういうことかを考える。
	3. 思春期の若者が、まじめに性を語る場と相談できる人を持つ。	対象者：生徒・学生（中学校・高校） 思春期ピアカウンセラーを性の健康教育の場で活用。 ○思春期ピアカウンセラーが主体になり性の健康教育を展開する。知識・情報の提供を行うだけでなく、生徒・学生が自分で考える時間を持つことで行動に移せる。 * 思春期ピアカウンセラー：、県保健所と共催で実施した思春期ピアカウンセラー養成講座（カウンセリングの技術と性について学ぶ）を修了した、対象者により近い年齢の者（20歳前後の大学生、短大生等）。

17年度出前講座実績（性の健康教育分23件）

対 象	学 校	実 績
保護者	小学校	4校
	中学校	1校
生徒	中学校	12校
学生	高校	6校（内1校は思春期ピアカウンセラー実施）